

オリエンテーリングの未来に向けて

「地図を手に 明日へと駆ける」 -日本オリエンテーリング協会-

日本オリエンテーリング協会の4つのビジョン—新たに設定しました

○日本と世界をオリエンテーリングでつなぎます。

○フェアプレーを応援します。

○社会に役立つスキルを広めます。

○オリエンテーリングを楽しむ仲間を増やします。

具体的な行動指針

- 国際オリエンテーリング連盟 (IOF)、日本オリンピック委員会 (JOC) へ加盟し、世界を目指す。
- 選手を強化し、世界選手権等に選手を派遣。
- IOFに役員を派遣。
- 日体協に加盟し国体競技を目指す。

- 競技規則、地図規程の整備、コントロール制度の充実を通して高いクオリティーの大会を提供。
- JADA加盟、AD活動を通してフェアプレーを高める。
- 公認大会の開催や公認を行う。

- 他のアウトドアスポーツと連携。
- ナビゲーションスキルの講習を通して、アウトドアの安全と健全な発展を進める。
- ナビゲーションを活用した研修で、そのスキルを社会に広める。

- 会員を支援する。
- 競技者の増加に努める。
- 体協加盟へのサポートを行う。
- 距離認定事業を行う。
- ナビゲーションゲームズやJOAロゲイニングを通して普及と知名度アップを図る。

ビジョンを実現するための3つの重要課題とその主な対策

①健全な財政基盤(慢性赤字からの脱却)

- ・JOAの固定費(事務所費、人件費、関連団体会費)と基礎収入(会費、競技者登録費、指導者登録費)とをバランスさせます。
- ・削減してきた事務局経費に加え、一層の財政努力で支出削減を図ります。
- ・ナビゲーションゲームズ、研修受託、関連物品の販売など増収策を進めます。
- ・さらなるJOA経費削減に努めます。

②会員支援

- ・支援財源確保(大会参加費、地図からのサポート)し、財政に厳しい会員の支援を行います。
- ・活性化委員会を設置し、会員の活動に人的、財政的支援を行います。

③活性化と広報

- ・活性化委員会で、会員の普及活動や新規会員の立上を支援します。
- ・学連と共同で学生登録者の卒業後の競技者登録や地域クラブへの加入促進を行います。
- ・会員や競技者登録者には、JOAニュースに加えメールマガジンで情報の提供を行います。
- ・プレスリリースなどで、広く社会へオリエンテーリングの情報を発信します。
- ・子供から大人まで楽しめる生涯スポーツであることをひろめます。

組織改革は競技者とともに

公益社団法人日本オリエンテーリング協会